

平成28年度泉大津市事務事業外部評価結果

NO.	事業名	評価結果	主なコメント
①	社会福祉協議会支援事業	B:要改善	<ul style="list-style-type: none"> ○事業に対する補助金の効果的運用をチェック・助言する仕組みが必要。 ○補助金の使途やサービスの内容を市民に周知するなど、透明性の向上が必要。 ○事業に対する評価基準の明確化が必要。
②	地域コミュニティ活性化事業	B:要改善	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の成果指標を再検討してはどうか。より目的に合致した成果指標があるのではないか。 ○目的に見合った内容と予算の確保が必要。 ○設定した地域リーダー像に基づき、セーフコミュニティ活動と連動した人材育成の仕組みを検討してはどうか。 ○先進事例視察の成果を積極的に発信する仕組みが必要。
③	防犯対策事業 (防犯カメラ設置補助)	C:縮小	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯カメラは、一定の台数を設置すれば効果があると考えられるため、今後は設置台数の増加を図るのではなく、運用効果の把握・向上に注力してはどうか。 ○自治会・警察と連携して、設置効果や副作用について検証する仕組みが必要。
④	細街路整備事業	D:休止・廃止	<ul style="list-style-type: none"> ○長年にわたり申請件数が0件となっている。事業の実施自体が難しいのではないか。 ○都市計画等の大きなランドデザインを描いて、その中で行うべき。 ○建築基準法に基づく行為に対して、市が助成する必要性があるのか。
⑤	証明書発行専用窓口事業	A:現行どおり	<ul style="list-style-type: none"> ○証明書発行件数から日曜の窓口開庁のニーズは認められるが、コンビニ交付への移行についてはすぐに開始しなくてもよいのではないか。時代のニーズを見て、対応方法を改変すべき。 ○市民の満足度や要望を把握したほうがよい。
⑥	就労支援事業	B:要改善	<ul style="list-style-type: none"> ○就労に繋がった件数や就労状況についてフォローアップする仕組みが必要。 ○福祉部局との連携も含め、セミナーに行くことができない人への対策が必要。
⑦	フカキ夢・ひとづくり賞事業	B:要改善	<ul style="list-style-type: none"> ○申請数を増やすために、賞の内容の周知や権威づけが必要。 ○若い人や本市独自の伝統文化・地場産業の振興に寄与する人材の発掘・育成に活用すべき。